

清里町町民プール

■所在地	北海道斜里郡清里町羽衣町 31 番地 14	■木材使用量	157.61m ³
■設置者	清里町	うち地域材	156.06m ³
■構造	木造平屋建	■使用樹種	構造 カラマツ、トドマツ
■延床面積	997.97m ²	内装	セン、カラマツ



◆施設の概要

本施設は、町内産材のカラマツを大断面集成材に使用、一般用25mの5コースと幼児用を備えたプールですが、一般用のうち2コースはフィットネス用に水深を調整できるようにしています。多様な方が利用しやすいようプール内の階段やスロープのほか、ユニバーサルトイレも設置しています。また、隣接する温泉施設から源泉を引き込むことでランニングコストの低減も図っています。

◆工法等の特徴

多湿で塩素を使用する環境のため、施設の形状を単純化し、熱を伝えにくい木材の特性を生かした木造とすることで結露や錆の低減を図っています。

寒冷地に立地するプールですが、集成材を現すことで、木材特有の温かみのある空間となっており、地域メーカーの銘木合板を内装に使用することで、木目の美しさも感じられます。

◆整備に当たり苦慮したこと

多湿対策として、換気性能を十分に確保し、集成材は防腐処理することで耐久性を向上、接合部にエポキシ樹脂を注入し接合金物の発錆を防いでいます。外装には、カラマツ羽目板を使用していますが、雨水がかかりにくいよう工夫しています。

町内産のカラマツを使用するに当たっては、伐採の時期など業者間での連携を行いました。

◆利用者の声

プール室内での集成材を現したり、ホール等の内装木質化により、『明るく暖かい雰囲気になった』『柔らかく、雨の日でも明るい気持ちになる』『プールは寒い・冷たい印象があるが、集成材を露出するなど視覚的演出をしたことで温かいイメージをもった』『地域材が身近に感じられる施設』などの意見・感想が寄せられています。